

WHO ファクトシート

動物咬傷

Animal bites

ファクトシート No. 373

2013年2月

重要な事実

- ・世界的に、動物咬傷は、罹患率や死亡率に重要な影響を与えている。
- ・世界的には、500万人近くの人が毎年へびに咬まれており、その過半はアフリカや東南アジアにおいてである。
- ・毒へびに咬まれた場合、適切な抗毒素による迅速な医療処置が必要である
- ・毎年、イヌに咬まれたことによる傷害が数千件発生しており、その多くが子どもたちである。
- ・狂犬病は、イヌやネコ、サルに咬まれた後の重要な健康上の懸念である。

© World Health Organization

この文章は、日本 WHO 協会が WHO のメディアセンターより発信されているファクトシートのキーファクト部分についての日本語版の翻訳権を WHO 事務局長より付与され、WHO 健康開発総合研究センター（WHO 神戸センター）の協力のもと作成したものです。日本語版に対する責任は全て日本 WHO 協会が負います。

ファクトシートには、訳出部分以外にも当該案件に関する基本的情報や詳細情報へのリンク先などが示されていますし、また最新事情に合わせて頻繁に見直しが行われますので、更新日時の確認を含め WHO ホームページでの原文をご確認ください。

Animal bites ファクトシート原文は [こちら](#)